

【南丹地区幼稚園・小学校・中学校・高等学校等連絡協議会・人権教育部会】

人権学習授業を通して校種間の連携を図る —南丹市立園部中学校における人権学習・取組報告等—

平成 26 年 12 月 3 日、南丹市立園部中学校において、管内の幼稚園・小中学校・府立学校の教員約 40 名が参加し、同和問題に視点を当てた「牛のかたき討ち」という教材の人権学習を参観しました。



公開授業「牛のかたき討ち」



落ち着いた雰囲気の中で授業が進められました。

授業参観後の交流協議では、はじめに園部中学校から、人権学習の計画や教職員研修、日常の人権に係る指導等について、説明していただきました。

その後、グループごとに分かれ、「公開授業及び人権の取組から自校・園に活かせること」をテーマに、交流協議を行いました。



交流協議



交流協議では、活発な意見交換が行われ、校種間の連携が深められました。



廣瀬部会長と会場校の平林校長のあいさつ

園部中の取組報告



人権教育担当の平井教諭による取組報告

参加者の感想

- 時間をかけて教材研究・資料分析をしていることが分かった。導入の工夫や資料の提示、2人の授業者の役割分担等、大変参考になった。
- 他校種の授業を見るのはとても勉強になる。高校の先生とも交流ができて、貴重な機会になった。
- 歴史認識の構造的な学習をする上で、事前に十分な指導者側の研修があったように思う。自校でも、教職員の人権研修を充実させていきたい。
- 今後の授業展開がとても気になるし、生徒がどのような感想を持ったか知りたい。生徒はとても集中して学習に取り組んでおり、感心した。
- 学びの多い研修会だった。教職員の研修や教材研究の大切さをあらためて感じた。